名古屋港における○○○○○○

〔ヘッダー〕MSゴシック，10pt

MSゴシック，14pt

センタリング

〔ページ番号〕

ページの上、外側に配置

〔著者名〕

MS明朝，12pt

センタリング

作成例

□

港湾　太郎1・港湾　花子2

〔所属先及び住所，アドレス〕

MS明朝，10.5pt

センタリング

1○○大学教授　○○部○○課（〒455-0033　名古屋市港区港町1番11号）

E-mail:kouwantarou@nagoyako.lg.jp

2○○株式会社　○○部○○課（〒455-0033　名古屋市港区入船一丁目8番21号）

E-mail:kouwanhanako@.co.jp

〔摘要〕

MS明朝，10pt

400字以内

□

本研究では，名古屋港が地域経済との間に多くの相互関係を持ち，相互に様々な効果を与える中で，特に名古屋港の地域の産業と関係性と名古屋港における社会資本ストックの地域経済へ効果，名古屋港における港湾地域整備や開発の地域経済への波及効果について定量的に分析する．既存研究として平成17年愛知県産業連関表を用いた名古屋港の経済への波及効果の分析が行われているが，本研究では，さらに名古屋市に与える効果などについても考慮に入れ，分析を行う点が主な特徴である．

〔キーワード〕

MS明朝，10pt

5個程度

**Key Words：**名古屋港，中部圏経済，港湾地域整備，愛知県産業連関表

□

〔章の見出し〕

MSゴシック，10.5pt

上は2行空ける

□

Ⅰ．名古屋港の物流状況と地域経済に関する現状分析

□名古屋港の物流状況と地域経済との関係について，近年の傾向と特徴，各種調査データを用いて取りまとめる．名古屋港が立地する周辺地域の経済状況と名古屋港を利用する中部圏の経済状況，名古屋港の物流実態状況１）をそれぞれに検討する．

〔節の見出し〕

MSゴシック，10.5pt

上は1行空ける

1．名古屋港が立地する周辺地域の経済状況

□統計データは，名古屋港が立地する名古屋市，東海市，知多市，弥富町，飛島村が公表している経済活動別市町村内総生産，市町村民所得の分配，市（町村）内支出の動向，雇用者の推移，工業統計（市町村編）で名古屋港を利用していると考えられる製造業の生産・出荷の状況を概観する．

〔本文〕

MS明朝，10.5pt

句読点はコンマ及びピリオド（全角）を用いる

1）名古屋市

〔項の見出し〕

MSゴシック，10.5pt

上のスペースは空けない。

原則として項より下位の見出しは用いない

　2）東海市

2．名古屋港を利用する中部圏の経済状況

□愛知県統計年鑑および都道府県別経済統計（日本銀行調査統計局）、工業統計を用いて生産額や出荷額，雇用者，中部圏の各都道府県の県内総生産，所得，支出項目１）を取りまとめる．

〔注釈の配置〕

MS明朝，10.5pt，上付き

3．港湾における社会資本による経済効果

□名古屋港（データ制約により名古屋港以外も含む可能性がある）の社会資本ストックの蓄積について取りまとめ，生産にどの程度寄与したかを分析する．

図

図のキャプションは

下，センタリング

出所は図に合わせて

右揃え

図-1　表題

出所：○○○○○○

Ⅱ．名古屋港における港湾地域整備や開発の地域経済への波及効果

□名古屋港における経済波及効果の分析は名古屋港管理組合によって3回行われている．第1回は昭和48年3月に，第2回は昭和56年3月，そして第3回は平成3年6月に行われている．第2回は地域交易パターンに関する計量経済モデルと地域間産業連関モデルを併用して名古屋港が存在していない場合のシミュレーション分析をおこなっている．第3回は愛知県産業連関表を用いて名古屋港の臨海工業地域に立地する企業の生産活動が県内生産に及ぼす経済効果を分析している．それぞれの分析方法や分析結果を取りまとめる．

表-1　表題

表のキャプションは

上，センタリング

表

出所は表に合わせて

右揃え

出所：○○○○○○

数式はセンタリング

式番号は右詰め



(1a）



(1b）

注：

〔注釈・参考文献〕

MS明朝，10.5pt

本文末尾にまとめて記述する

１）支出項目は，○○○，○○○及び○○○を指す．

２）

【参考文献】

山田太郎著『東アジアの国際水平分業と名古屋港』2001．○○書店 pp.30－31

鈴木次郎「港湾経済効果の計測手法」1982．運輸省港湾技術研究所報告 21p.

名古屋港管理組合「名古屋港の港湾統計」http://www.port-of-nagoya.jp/

〔参考文献〕

1. 書籍の場合　著者名『著書名』 出版年 出版社 引用頁 を最低限記入する
2. 論文の場合　研究者名「論文名」報告年 掲載著書名 引用頁　を最低限記入する
3. HPの場合　作成者 webページのタイトル　アドレス(URL)　 を最低限記入する